



今年は大きな変化が続く1年となります。まずは、長年保育園の担任を務めてきたエリアーナさんというスタッフが私たちのもとから去り、サンパウロでの研修から戻ってきたパトリシアさんが担任教師として就任しました。

そして、2013年3月から実施していた「JICA草の根技術協力事業」が8月末で終了することを受け、引き続き事業を実施していくために、今後の方向性を決めていく必要があります。

## 速報！「世界の秘境に嫁いだ日本人妻」で放映されました！



そしてなんといっても、2月に放送された「秘境に嫁いだ日本人妻」（テレビ東京）に出演したことは変化というよりも、大きな出来事と言っても過言ではないでしょう。実は2013年頃から、いくつかのテレビ番組から「こういう企画で行っている番組なのですが、出演を検討していただけますか？」という話を頂いていました。2014年はブラジルW杯。それも有り、ブラジルで活動している日本人ということで白羽の矢がたったのでしょ。う。いったいどこで私のこと、私たちの活動を知るのか？一番大きいのはHP。それにブログだったようです。インターネットで“ブラジルで活動している日本人”を調べ、私に辿り着いたようでした。

私も日本帰国間近であり、しかも年末、学年末であったこともあり、本来ならば1週間かけて撮影したいところを、なんと4日間で行いました。それが編集を経て、正味20分になってしまっただからすごいですよね（笑）。

通常の放送では、海外で暮らす日本人ということで、日常の暮らしなどを中心に伝えるのですが、私の場合はこちらで活動しているということ踏まえての撮影だったので、どちらかというと光の子どもたちの会の活動紹介となりました。これはプロデューサーが私たちの活動をきちんと理解し、それを伝えることを選んでくれたからだと思います。

私たちの活動がこうして映像として、皆さんに見ていただくことができたのは、本当に嬉しいことです。「想像だけではやっぱりわからないね」「本当に砂の中に住んでるんだ！」など、見てくださった方々からたくさんのコメントが寄せられました。私たちの活動を応援して下さいている皆様、本当にありがとうございます。これからも多くの方々に支えていただける活動となるよう、努めていきたいと思っておりますので、応援のほど、よろしくお願いたします！

### 世界へ羽ばたく！ 「光の子どもたちの会」卒業生

前回、ご紹介したViviane(ヴィヴィアーニ)につづき、Angelina(アンジェリーナ)とPatrícia(パトリツシア)にインタビューしました！ 翻訳:鈴木真由美



アンジェリーナ・ペレイラ・ドス・サントス

(Angelina Pereira dos Santos)

今回は、私の人生について話させていただきます。  
保育園を入園してから高校を卒業するまでについてです。

### 素晴らしい人々との出会い

全てが始まった小さな家。今ではヘシクリアンサ(※環境教育NGO)と呼ばれているところです。そこが私が人生のはじめの一歩を踏み出した場所であり、今日の私の原点といえる場所でもあります。私が初めて出会った先生はエヴァ・カストロという、芯のある、素晴らしい教育者でした。この女性は、私の人生における全ての段階において、私が正しい道を歩んでいけるように、適切な言葉をかけてくれた人です。そして、私のゴッドマザーである、アンジェラのことを忘れたことはありません。彼女は闘う女性であり、まるで空から降りてきた天使のような人でした！さらに、モンチ・アズール(※ドイツ人のウテ・クレーマーさんが始めたシュタイナー系の保育園から始まった、サンパウロのスラムにあるコミュニティ)の人たちと一緒に、私たちのことをいつも助けてくれた、鈴木真由美さん。私が歩む道の中で、たくさん助けてくれました！

### 学校と進路選択

今まで通った学校の中で、私の支えとなったのは、São José(サン・ジョゼ)という学校です。カトリック教会系列の学校で、自分の足で歩いていく力を与えてくれた場所でもあります。私は8年生までそこに通いました。その後、カノア・ケブラーダにある公立学校Zé Melancia(ゼ・メランシア)に転校し、9年生を終えました。最終学年のとき、私は、自分がこれからどんな道に進んでいきたいのかを決めなければなりません。このとき、私は自分自身で私の夢を追い、人生の高い壁を乗り越える決意をしました。私が選んだのは、Liceu(リセウ)と昔呼ばれていた、高等専門学校の看護学科です。この場所で、私はたくさんを学び、考え、それを実現する方法を学びました。

### 支えてくれた人々と神様への感謝

これまで、私が夢を追いかけるのを手伝ってくれた全ての人々に、とても感謝しています。離婚し、難しい人生を歩むことになっても尚、私を応援することを忘れなかった両親。エヴァ・カストロ先生、真由美さん、真野由紀さん(※日系社会ボランティアとして滞在2011~2013年)、私のゴットマザー。そして、多くの障壁や立ち向かうべき問題の中でも決してあきらめず、信じてくれたのは神様のおかげです。ありがとうございます。

# Go Girls ! \*Viva Meninas !

## #03

パトリッシア・マルケス・ダ・シルバ  
(Patrícia Marques da Silva)

光の子どもたちの会の支援で、サンパウロにあるモンチ・アズール(※前項参照)での1年間の研修を終えました。

※写真、左



私はパトリッシアという、エステーヴァン村に住む24歳の女性です。私は両親の家で3人の姉妹と甥っこと一緒に暮らしています。2014年、サンパウロのモンチ・アズールというところで1年間ボランティアとして働く機会を得ました。エヴァさんという住民の方の家に同居させてもらっていました。私はその方に、新しい環境に上手く慣れるようにたくさん助けてもらいました。

### サンパウロの寒さに苦しむ

都会の生活は簡単で、私が知っている生活とはかけ離れていました。そこでたくさんの問題や課題に出会いました。例えば、気候、健康、交通渋滞、暴力といった都会での経験です。私にとって一番大変だったことは、寒さに慣れることでした。それは私にとって、とても恐ろしいもので、もしかしたらきちんと仕事をする事ができないかもしれないとさえ感じていました。なぜなら、寒さのせいで私はいつも病気になっていたからです。でも、「不可能ということは絶対ない！」といつも信じていました。

### 子どもたちの暮す環境のちがい

モンチ・アズールで行っている活動と光の子どもたちの会の保育園で行っている活動は、シュタイナー教育を基本としており、同じ道をたどっているといえます。といっても、地域性は大きく異なっています。モンチ・アズールに通ってきている子どもたちは、自然との接触があまりなく、麻薬や暴力、大気汚染と幼いころから接し、また、家族と過ごせる時間はとても少ないと言えます。なぜなら、子どもたちの多くは、朝7時~夕方5時まで保育園にいるからです。光の子どもたちの会の保育園へ通っている子どもたちは、自然との触れ合いが日常的にあり、麻薬や暴力に触れる時期は遅いですし、家族と過ごす時間も長いと言えます。例えば、ジャンガーダ(帆船)作りや伝統工芸の製作、漁などを身近で体験することもできるのです。これらの違いは、モンチ・アズールと光の子どもたちの会の活動との違いともいえるでしょう。

### 1年間で学んだこと

このような機会を与えていただき、本当に感謝しています。私の職業としての経験だけでなく、私自身の人生にとっても忘れ難いものとなりました。この経験を私と一緒に体験してくれた全ての人たち、特に光の子どもたちの会の人たちに心から感謝しています。少し離れたところから物事見ることができたことで、今までよりも、はっきりと見えるものがあると感じています。いつも私たちが欲しいものが、欲しい時にあるわけではないということ学びました。それは、時を待つという、タイミングなのだと思えます。私たちが抱えている問題や課題は、持続性と柔軟性を必要としています。人生は簡単ではありません。でも、自分の夢を信じて、将来に向けて歩いていくことが大切なのです！

## “O dia das Mães”

### 母の日イベント、母親対抗?!運動会



5月の第2日曜日は母の日。昨年はコーヒーブレイク好きな彼女たちのために、子どもたちの発表会とお茶会を行いました。さて、今年はどうするか？教職員会議で話し合った結果、「運動会にしよう！」ということになりました。

日本では考えられない程、母親対抗の運動会は盛り上がります。しかも、母親だけではなく、参加者には70代のおばあさんもいるのだからすごいものです。ボール送りに綱引き。走って、跳んで、追いかけて…それはもう、すごい勝負の連続でした（笑）。

私の一番のお気に入り綱引き。あまりの真剣さに教職員一同、止められない程ヒートアップしました。勝っても負けても大笑い。一年に一度はこんな日があってもいいですね？



お母さん、おばあさん、おばさん、  
全ての女性たちに…  
いつもありがとう！

### 子育て日記より

「高校生になるとときには自分たちで自分の歩むべき道を選ぶことができるように育てていこう」。これが私たちの教育方針です。二つの異なる文化や背景の中で育つ娘たちには、それぞれを十分に体験してもらいたい。学業も人の2倍。本人たちは当たり前だと思っているようですが、日本とブラジル、両方の学校に同時に通うというのはそんなに簡単なことではありません。ですが、二人とも頑張っているというよりは、かなり楽しんでくれているようで助かっています。

そんな中、長女は着々と将来の夢を持ち、それを叶えるためにはどうしたらいいのかを随分と考えているようです。日本とブラジル。どちらの高校に行くのか？どうすれば自分の夢を叶えることができるのか？小学5年生にして、随分しっかりしていると、親ながら感心してしまう今日この頃。私たちにできる唯一のこと。それは、彼女たちを支えることだけです。いつも一番そばで見守ってたいですね。



## 国内活動＊Atividade no Japão

### ●ブラジル学校の子どもたちとの交流会 @エスコーラ・アクアレラ（厚木市）（2015.1.25）

神奈川県厚木市にエスコーラ・アクアレラという学校があります。今回は、アクアレラと初めてイベントを開催しました。子どもたちと一緒に、輪になって歌って踊ったりして盛り上がった後は、ビニールとストローを使って凧作りを行いました。卒業生の女の子2人組ユニット「as descendentes（アス・デセンデンチス）」によるライブも行われ、お昼には校長先生のジュリアさん特製のブラジル伝統料理「フェジョアータ」を頂きました。素敵な音楽を聴きながら食べるフェジョアータは最高でした！最後に公園で凧上げ。空に舞う手作り凧はとっても綺麗でしたよ！（はるな）



### ●よこはま国際フォーラム2015子どもの笑顔が地域を変える

～ブラジル子育て支援活動から～ @JICA横浜（2015.2.8）



鈴木真由美さんのカノアでの活動を含め、今まで続けてきたことによる、子どもたち、親たちの変化、そこから見えてきたことなどを話してもらいました。今年の基調講演では、NPO法人Nobody's Perfect Japan副代表の伊志嶺美津子さんをお招きしました。（なつみ）

### ●真由美さんを囲む会 @アパレシーダ（2015.3.1）

真由美さんのお話をじっくり聞きたい。真由美さんとざっくばらんに話をしたい。そんな希望を形にした、報告会。アットホームな空間で、色々な話ができ、互いに心の距離もぐっと近づきました。美味しいブラジル料理をいただきながらのこの時間は、とても贅沢なものでした。（さちこ）



### ●第10回 総会 @JICA横浜（2015.3.29）



今年の総会では、第2部にヘンドリックさんによるポルトガル語講座が行われました。ヘンドリックさんの楽しいトークと共に、簡単なポルトガル語を勉強しました。（さちこ）

## イベント情報 \* Informa ç ã o dos eventos



- 7月25日(土)      ブラジル料理教室 @東京西馬込
- 9月26日(土)      ブラジル料理教室 @東京西馬込
- 10月10日(土)      よこはま国際フェスタ 出展 @象の鼻パーク
- 11日(日)                      //      (物品販売や活動報告を行います)
- 12月12日(土)      ブラジル料理教室 @東京西馬込
- 1月末                      第二回ブラジル学校アクアレラとの交流会  
@神奈川県厚木市



ブラジルのことが気になる・・・  
そんな人たちの交流の場になっています！  
詳しくは、以下より、お問い合わせいただくか、  
フェイスブックで。

お問い合わせ先： 代表 鈴木真由美、日本事務局長 堀池真輔

〒221-0841 神奈川県横浜市神奈川区松本町 1-7-1 TEL/FAX 045-321-1824 [horike59@msi.biglobe.ne.jp](mailto:horike59@msi.biglobe.ne.jp)

フェイスブック「光の子どもたちの会」 ホームページ: <http://criancasdeluz.org>

## カノアからのお知らせ \* Informa ç ã o de Canoa

### <コミュニティセンター修繕について>

前回の「カノア便り55」でお願いしていました  
「コミュニティセンターの修繕への支援金募集」  
ですが、7名の方からご寄付をいただき、10万円が  
集まりました。ありがとうございました。

残念ながら、予定されていた修繕プロジェクトへの  
助成が不採用となり、計画していた修繕を実施す  
ることが難しくなっていました。しかし、エス  
テーヴァン村住民協会の皆さんと話し合い、窓やド  
ア、配管の修繕及びペンキ塗りといった、必要とし  
ている最低限の修繕をいただいた支援金で実施しよ  
うということになりました。まだ修繕の時期は決定  
していませんが、次号には、その後の報告ができる  
のではないかと考えています。

**寄付をしていただいた皆さま、報告を楽しみにしててください！**

# 会計報告 \* Assembleia geral

## 光の子どもたちの会会計報告及び予算

科 目	26年度予算	26年度決算	27年度予算
<b>収入の部</b>			
前期繰越金	2.036.649	1.182.306	555.648
物品販売	50.000	116.745	50.000
会費収入	250.000	95.000	250.000
寄付収入	2.000.000	1.842.488	2.000.000
学資支援費	90.000	0	90.000
音楽企画支援費	180.000	0	0
サッカー企画支援費	10.000	0	10.000
その他事業費(イベント等)	100.000	31.251	100.000
かながわ民際協力基金	0	190.000	190.000
JICA草の根技術協力事業	4.054.705	4.203.780	2.362.228
カノア修繕支援金	0	54.000	100.000
受取利子	10	15	10
<b>収入合計</b>	<b>8.671.364</b>	<b>7.715.585</b>	<b>5.707.886</b>
<b>支出の部</b>			
事務局運営費(B)	60.000	140.646	60.000
事務局運営費(日)	10.000	11.775	10.000
保育園企画食材費	30.000	41.781	30.000
保育園企画教材費	0	41.989	30.000
保育園企画研修費	30.000	0	30.000
保育園企画職員費	1.800.000	1.515.508	1.800.000
保育園企画学資支援	90.000	81.393	90.000
音楽企画運営費	180.000	0	0
サッカー企画運営	10.000	0	10.000
かながわ民際協力基金	0	68.275	710.225
JICA草の根技術協力事業	4.410.531	4.306.370	2.362.228
味の素助成金	573.127	952.200	0
カノア修繕支援金	0	0	100.000
<b>支出合計</b>	<b>7.193.658</b>	<b>7.159.937</b>	<b>5.232.453</b>
次期繰越金		555.648	

単位：円

- (注) ・平成26年1月1日より平成26年12月31日までの決算報告となります。  
 ・平成26、27年度予算案はR\$1.00=50円で計算しています。

# ありがとうございます＊Obrigado

平成26年12月2日～平成27年5月までに会費及び寄付を頂きました皆さま、及び物資支援を頂きました皆さまのお名前を下記に記載いたしました。この場をお借りして、心より御礼申し上げます。  
本当にありがとうございました。

## 会費及び寄付を頂きました皆さま（以下順不同）

馬場悠男 さま ・ 堀池眞輔 さま ・ 和井田ナミ さま  
ベビーキルトなのはな さま ・ 吉田可南子 さま

## 物資支援をいただきました皆さま（以下順不同）

桑村寛子 さま

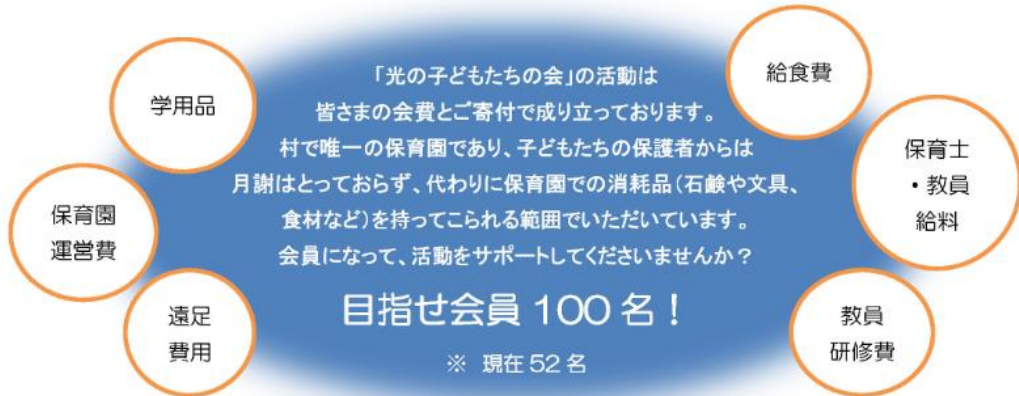
## ボランティアの皆さん、どうもありがとうございました！

（以下2014年12月より現在まで）

2014/8/15～現在：Vivianne（ビビアーニ、ドイツ人）・・・保育園にて障がい児担当。英語及び手仕事の授業

2014/10/6～2015/3/18：上田祐華・・・学童教室助手、「平和」授業実施

2015/3/2～2015/3/29：鈴木晃平・・・学童教室手伝い、スライムで水槽作り



年会費（五千元）・ご寄付のお振込み方法は4つ

### 1. 自動引き落としによる振込み

自動引き落とし希望の口座のある金融機関で手続きができます。引き落とし日、金額をご指定いただけます。尚、ゆうちょ銀行の場合は以下の〈2. 郵便振替〉と同じ口座番号ですが、他金融機関からの振込の場合には〈3. ゆうちょ銀行振込〉の口座番号となりますので、ご確認ください。

### 2. 郵便振替

口座番号：00280-1-41787

加入者：光の子どもたち-カノアの活動を支える会

### 3. ゆうちょ銀行振込

名義：光の子どもたちの会 店名：〇二八（ゼロニハチ）  
店番号：928 普通預金 口座番号：5552598

### 4. インターネットよりクレジットカードで振り込み

光の子どもたちの会ホームページ

([http://criancasdeluz.org/inicial/index\\_jp.html](http://criancasdeluz.org/inicial/index_jp.html))より、  
お振込みいただけます。